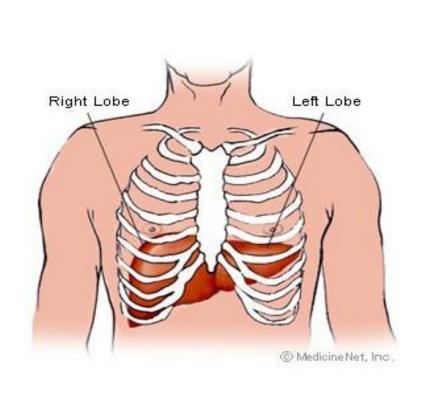
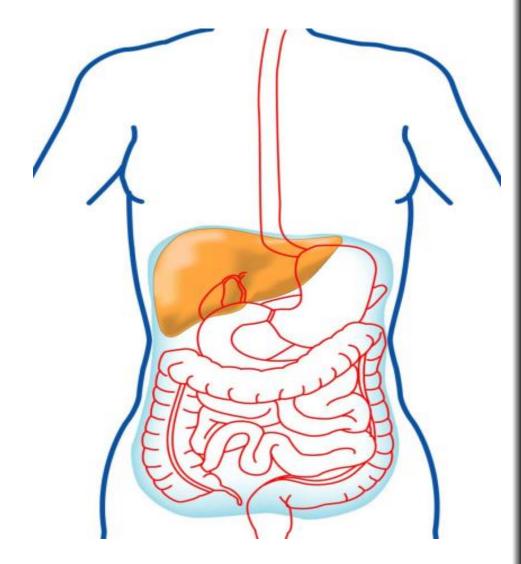
砺波総合病院 肝臓病教室

B型慢性肝炎 最近の話題

市立砺波総合病院 消化器内科 稲邑克久

肝臓は右横隔膜下に存在する腹腔内最大の臓器(1200-1400g)





肝疾患の罹患状況

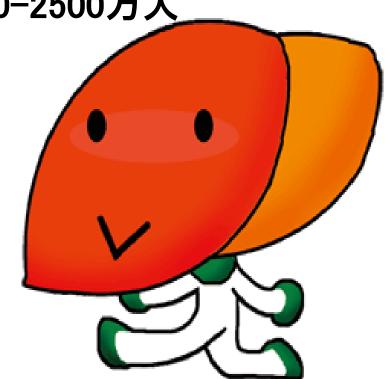
C型肝炎 200万人

B型肝炎 100万人

アルコール性肝障害 250万人

非アルコール性脂肪性肝疾患 1500-2500万人

单純性脂肪肝 脂肪性肝炎 300-400万人



ウイルス性肝炎

感染経路

慢性化

HAV

牡蠣

3歳までの感染

HCV

HBV

輸血 針刺し

血液 性交渉

高率

HDV

HBVベース

HEV

獣肉 ジビエ

HGV

HCVベース 輸血

TTV

血液 経口

EBV

唾液など

稀だがあり

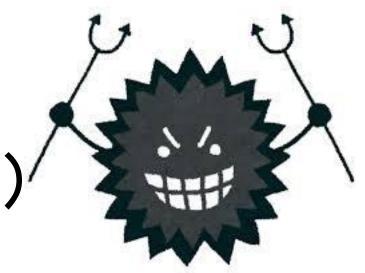
CMV 接触感染

なぜB型C型では対策が必要か

肝硬変へ進展し肝癌ができる

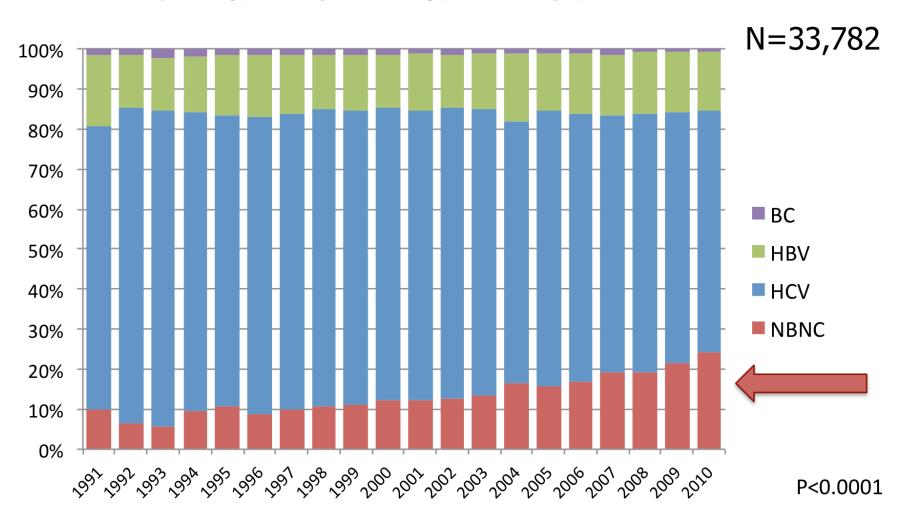
(HBs抗原とHBVDNA量が目安)

HBV—4% HCV—8% (/年 肝硬変)



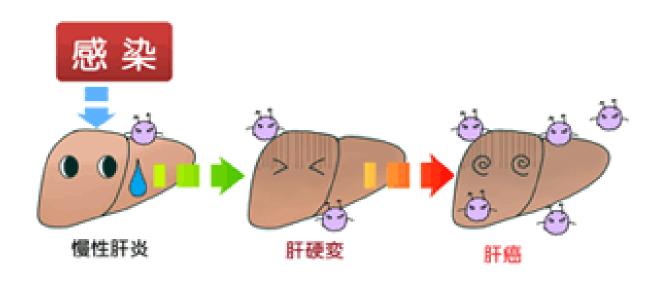
肝がんの背景

多施設(全国52施設)共同調査2012



全世界で3億5000万人感染状態年間50-70万人が死亡

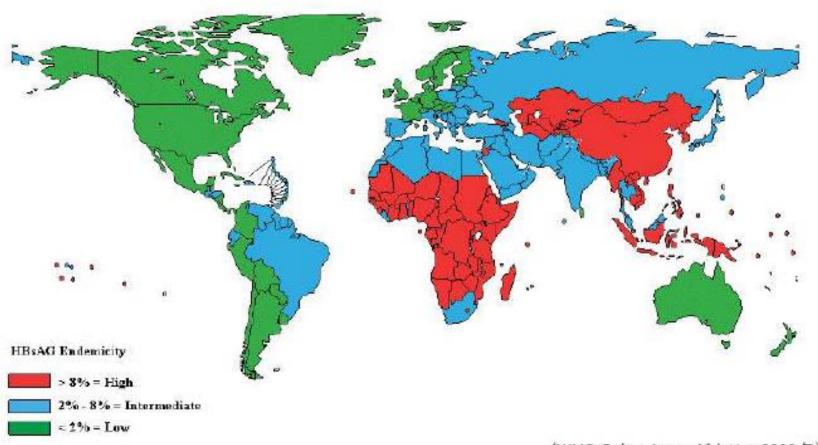
日本以外では肝癌になるイコール死亡



出典:日本肝臓学会HP

世界の地域におけるHBVキャリア数

● 無症候性キャリアも含め全世界で3億5千万人、世界中で60万-1100万人がHBV感染に起因する疾病で死亡していると推定されている。



(WHOのホームページより: 2008年)

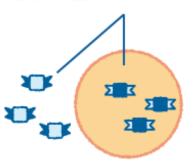
B型肝炎について

診断:採血ですぐわかる(採血しないとわからない)



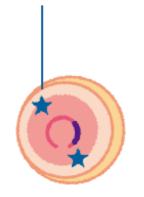
【HBs抗原】

ウイルスの外側にあり、増殖の際、少し違う形(粒子)として 血液中に出てくる。



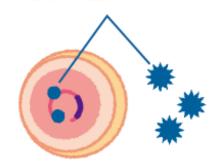
【HBc抗原】

ウイルスの内側にある。



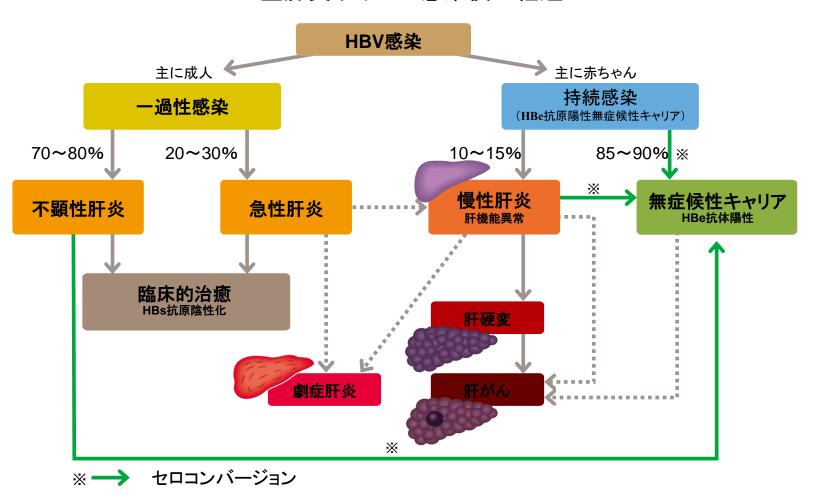
【HBe抗原】

ウイルスの内側にあり、過剰増殖 の際、少し違う形(可溶性たんぱく質) として血液中に出てくる。



B型肝炎の病気の経過

B型肝炎ウイルス感染後の経過



HBV感染経路

母子感染(出生時)性行為(成人)

慢性化は3歳未満の感染で起きる

(ただし成人でも欧米型genotypeAでは慢性化ずる)。



B型肝炎キャリア化対策

出産時新生児への免疫グロブリン 及びワクチン投与



(1986年から実施)



B型肝炎感染率

0.67%



50歳以上 → 25歳以下

1.2%

0.017%

100分の1に低下

B型肝炎感染対策

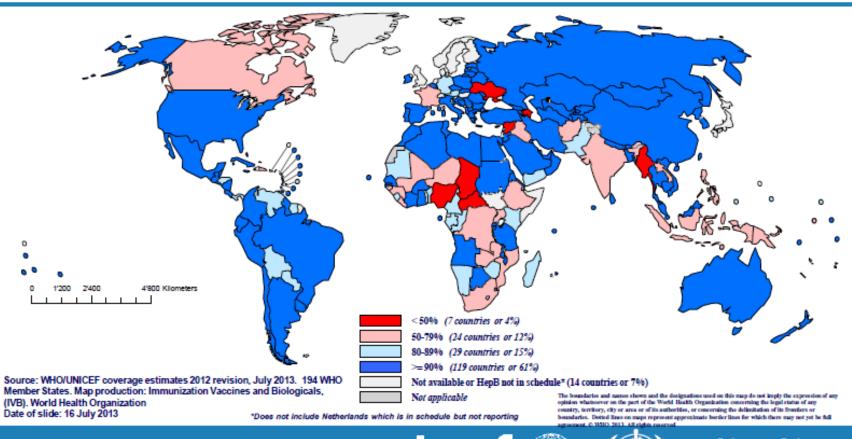
母子感染対策のみでは不十分とされた 慢性化しやすいとされる欧米型HBV(genotypeA)の問題 国際化に伴い性感染症として問題(父子感染) 年間10000人が感染していると試算される

ユニバーサルワクチン NEW!!

しかし数百億円かかります

ユニバーサルワクチンで全例に抗体作成

Immunization coverage with 3rd dose of HepB vaccines in infants, 2012







富山:F1

長野:F2

高崎:F3

東京:F4

20歳でも肝硬変になることがあります

HBV治療方針

35歳までまずは待つ 自然治癒を期待 (肝不全リスク高い場合には治療介入)



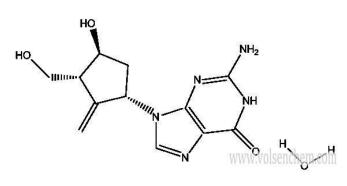
B型肝炎治療薬

① 経口抗ウイルス薬 エンテカビル テノホビル アデホビル

副作用が少なく効果は確実

中止するとリバウンド 高価

② インターフェロン 効果がいまひとつ 治癒率は1% 免疫賦活という点では合目的



エンテカビル



B型肝炎助成について (肝炎対策基本法)

月額原則1万円又は2万円です。 (平成22年4月~)

区分	自己負担限度額(月額)
世帯の市町村民税(所得割)課税 年額が235,000円以上の場合	20,000円
世帯の市町村民税(所得割)課税 年額が235,000円未満の場合	10,000円

なお、世帯の課税年額の算定に当たっては、税法上・医療保険上の扶養関係にないと認められる者については、課税額合算対象から除外できます。

B型肝炎注意点

①急性増悪 ⇨ 劇症化

(免疫抑制 ステロイド 化学療法)

2発癌

(必ずしも肝硬変でなくても発症)

③他者への感染

(特に慢性化しやすい3歳以下に注意)

定期的な受診で状態把握が必要

日常生活で気をつけること

家族やまわりの方へ感染させないために

- ●カミソリ、ひげそり、歯ブラシの共用は控えてください。
 - ●食器の共用や入浴では感染しません。
 - ●乳幼児への飲食物の口うつしは控えてください。
- ●B型肝炎ウイルスは、性交渉で感染するおそれがあります。 パートナーが未感染の場合、B型肝炎ワクチンの事前接種により、 感染を防ぐことができます。
- ●出血のあるケガをした場合、できるだけ自分で手当てをしましょう。未感染の方が手当てをする場合は、血液などに触れないように心がけてください。





